

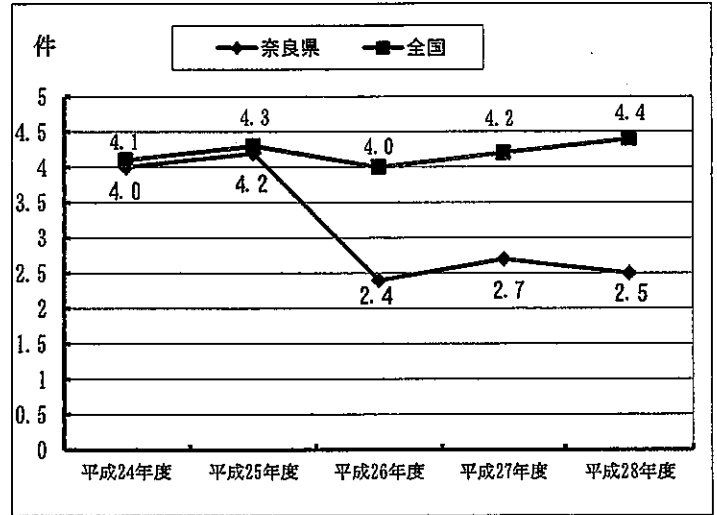
平成28年度
「児童生徒の問題行動・不登校等
生徒指導上の諸課題に関する調査」
結果の概要

奈良県教育委員会

平成28年度 暴力行為の状況

1 全国との比較（国公私立小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの発生件数）

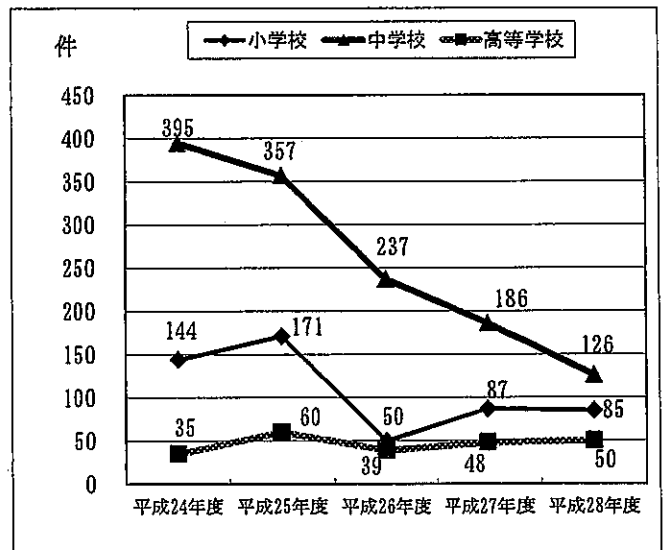
	奈良県	全国
平成24年度	4.0	4.1
平成25年度	4.2	4.3
平成26年度	2.4	4.0
平成27年度	2.7	4.2
平成28年度	2.5	4.4



※ 平成28年度の公立小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの発生件数は、全国が4.7件、奈良県が2.1件であった。

2 暴力行為の発生件数の推移（奈良県の公立学校）

	小学校	中学校	高等学校	合計
平成24年度	144	395	35	574
平成25年度	171	357	60	588
平成26年度	50	237	39	326
平成27年度	87	186	48	321
平成28年度	85	126	50	261



平成28年度 いじめの状況

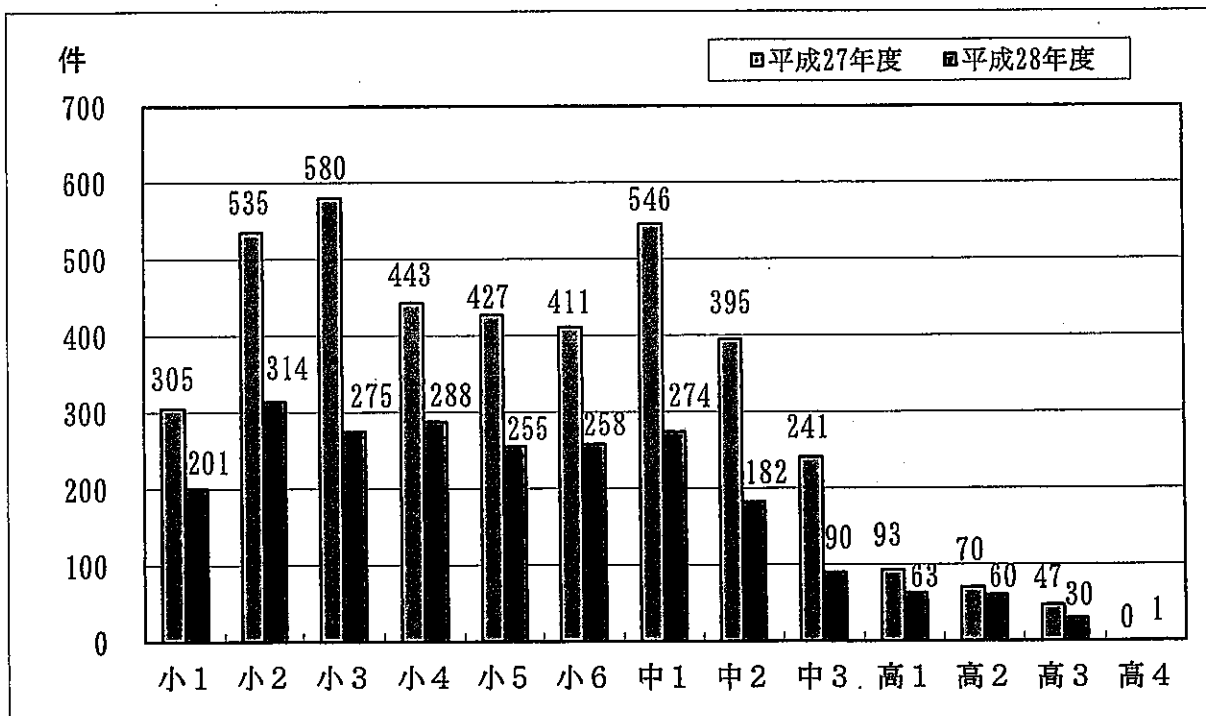
1 全国との比較（国公立小・中・高・特別支援学校合わせた1,000人当たりの認知件数）

	奈良県	全国
平成24年度	47.8	14.3
平成25年度	8.2	13.4
平成26年度	8.8	13.7
平成27年度	27.3	16.5
平成28年度	16.3	23.9

2 いじめの認知件数（奈良県の国公立小・中・高等学校）（件）

	小学校	中学校	高等学校	合計
平成24年度	4,768	2,278	468	7,514
平成25年度	579	514	196	1,289
平成26年度	654	585	135	1,374
平成27年度	2,712	1,274	247	4,233
平成28年度	1,686	615	186	2,487

3 学年別いじめの認知件数（奈良県の公立小・中・高等学校）



4 いじめの態様（奈良県の公立小・中・高等学校）

（％）

区 分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県 (公立)	全国 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	H28	63.8	61.6	73.4	65.7	63.0	62.3
	H27	67.3	62.2	65.7	67.1	66.7	62.8
仲間はずれ、集団による無視をされる	H28	16.2	15.6	13.7	13.9	21.4	14.8
	H27	13.5	18.8	12.8	14.9	18.6	15.0
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	H28	22.3	24.0	15.8	15.4	14.9	12.2
	H27	18.6	25.7	17.3	17.0	20.0	13.5
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	H28	9.3	6.9	4.2	4.8	2.6	4.6
	H27	5.9	9.1	3.6	5.8	4.8	5.2
金品をたかられる	H28	1.6	1.5	1.3	1.2	1.9	2.7
	H27	0.9	1.9	1.4	1.5	1.9	3.0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	H28	4.8	6.3	6.4	5.8	7.1	5.9
	H27	2.2	6.8	2.5	6.0	3.8	6.1
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	H28	8.4	7.6	6.8	6.3	5.2	7.1
	H27	4.3	8.2	4.7	7.1	5.7	7.5
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	H28	0.9	1.1	7.0	7.8	18.8	17.4
	H27	0.8	1.4	7.1	7.6	13.8	18.6
その他	H28	6.6	4.6	7.5	3.5	8.4	4.6
	H27	2.3	4.4	8.6	3.2	10.5	4.8

※ 構成比は、各区分における認知件数に対する割合《複数選択可》

5 いじめの解消状況（奈良県の公立小・中・高等学校）

（％）

区 分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県 (公立)	全国 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)
いじめが解消しているもの	H28	87.3	91.2	88.6	89.1	85.1	89.4
	H27	78.2	90.4	71.9	85.9	67.1	84.3
一定の解消が図られたが、継続支援中	H28	本年度、調査項目から削除された					
	H27	17.3	8.0	25.9	11.3	31.0	12.2
解消に向けて取組中	H28	11.3	8.6	9.9	10.5	14.3	8.8
	H27	4.4	1.5	1.9	2.6	1.4	2.2
その他	H28	1.4	0.2	1.5	0.4	0.6	1.8
	H27	0.2	0.1	0.3	0.2	0.5	1.3

※ 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までとした。そのため、構成比で、合計が100％としない場合もある。

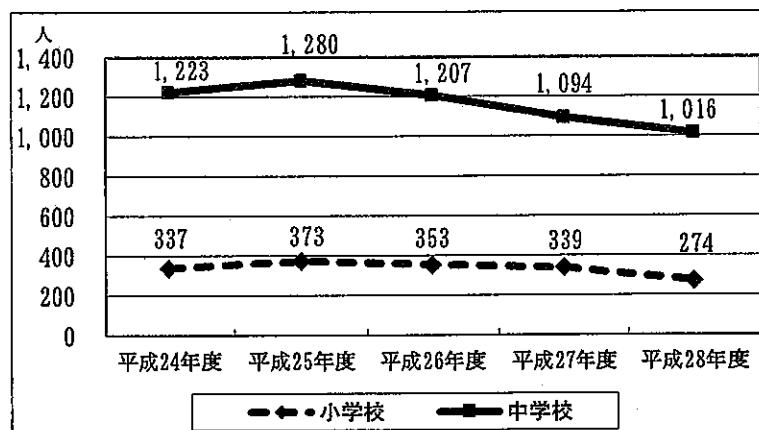
平成28年度 小学校・中学校における不登校児童生徒の状況(年間30日以上)

1 1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移(国公立小・中学校)

	小学校		中学校		小・中学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
平成24年度	4.5	3.1	28.9	25.6	13.2	10.9
平成25年度	5.0	3.6	30.8	26.9	14.3	11.7
平成26年度	4.8	3.9	29.5	27.6	13.7	12.1
平成27年度	4.7	4.2	27.4	28.3	12.8	12.6
平成28年度	3.9	4.8	25.9	30.1	11.7	13.5

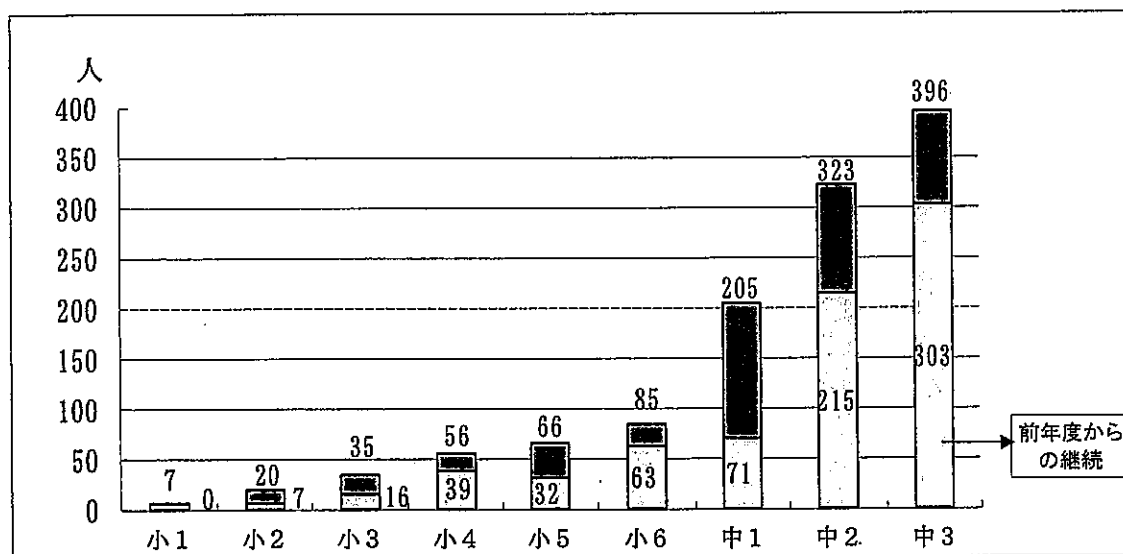
2 奈良県の国公立小学校・中学校における不登校児童生徒数の推移

	小学校	中学校
平成24年度	337	1,223
平成25年度	373	1,280
平成26年度	353	1,207
平成27年度	339	1,094
平成28年度	274	1,016



3 奈良県の公立小学校・中学校における不登校児童生徒の状況等

(1) 学年別不登校児童生徒数



(2) 不登校の要因

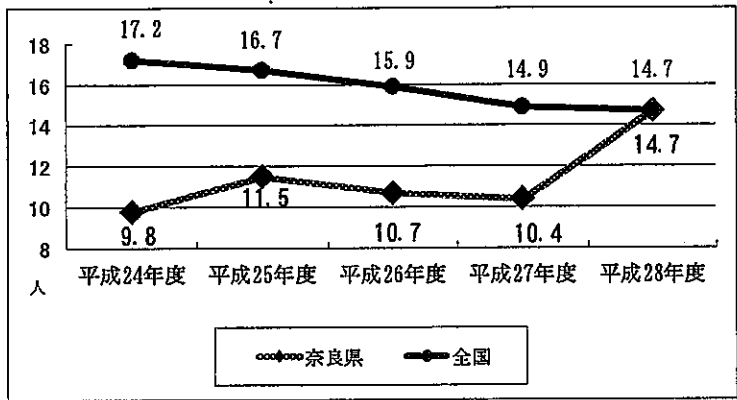
		小学校(人)	比率(%)	中学校(人)	比率(%)	合計(人)	比率(%)
学校に係る状況	いじめ	5	1.9	12	1.3	17	1.4
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	50	18.6	212	22.9	262	22.0
	教職員との関係をめぐる問題	9	3.3	17	1.8	26	2.2
	学業の不振	47	17.5	178	19.3	225	18.9
	進路にかかる不安	3	1.1	60	6.5	63	5.3
	クラブ活動、部活動等への不適應	0	0.0	29	3.1	29	2.4
	学校のきまり等をめぐる問題	11	4.1	41	4.4	52	4.4
	入学、転編入学、進級時の不適應	7	2.6	54	5.8	61	5.1
家庭に係る状況	149	55.4	330	35.7	479	40.2	
該当なし	50	18.6	169	18.3	219	18.4	
計	331		1,102		1,433		
不登校児童生徒数	269		924		1,193		

※ 構成比は、各校種における不登校児童生徒数に対する割合を示す。
 複数選択可、当てはまるものがない場合は回答しないことから構成比が100%とならない場合もある。

平成28年度 高等学校における不登校の状況

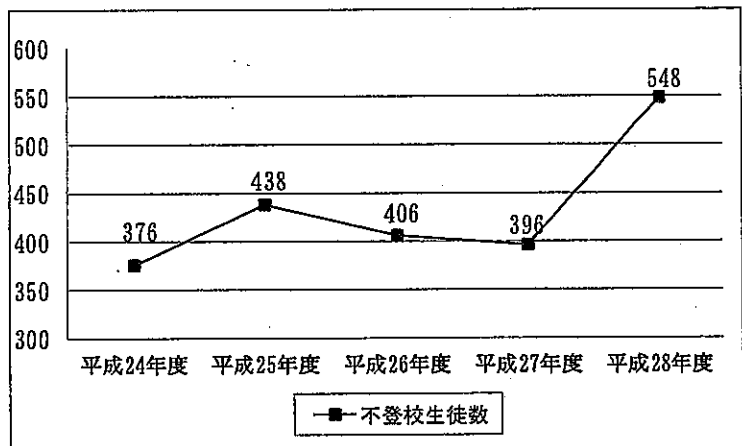
1 1,000人当たりの不登校生徒数の推移 (国公立高等学校)

年度	奈良県	全国
平成24年度	9.8	17.2
平成25年度	11.5	16.7
平成26年度	10.7	15.9
平成27年度	10.4	14.9
平成28年度	14.7	14.7



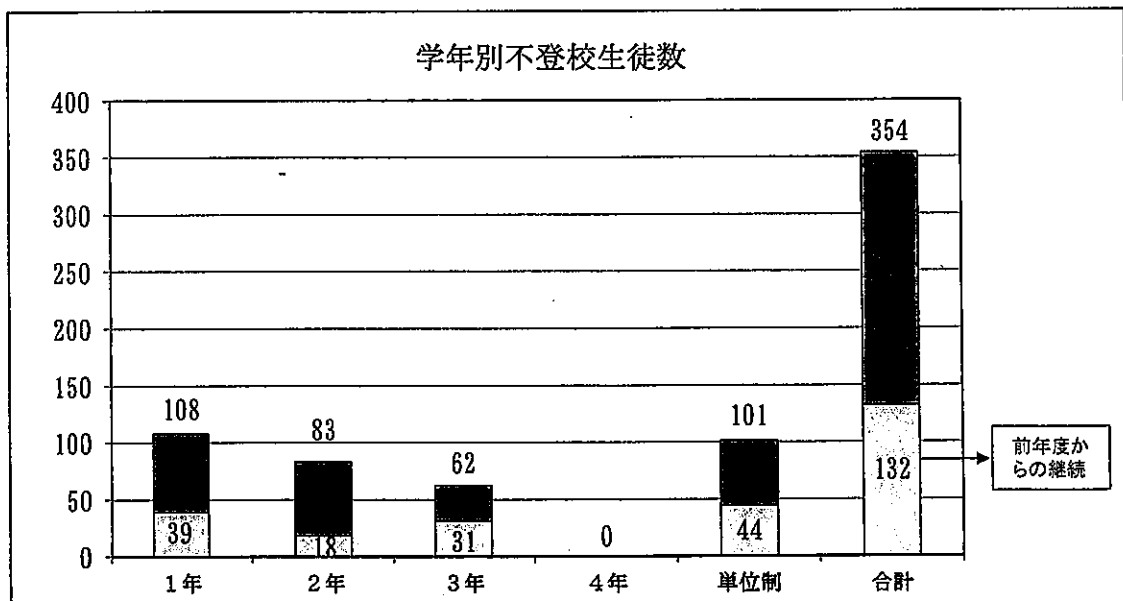
2 奈良県の国公立高等学校における不登校生徒数の推移

年度	不登校生徒数
平成24年度	376
平成25年度	438
平成26年度	406
平成27年度	396
平成28年度	548



3 奈良県の公立高等学校における不登校生徒の状況等

(1) 学年別不登校生徒数



(2) 不登校の要因 (全日制)

		平成28年度		平成27年度	
		生徒数(人)	比率(%)	生徒数(人)	比率(%)
学校に係る状況	いじめ	1	0.4	0	0.0
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	49	19.1	31	18.2
	教職員との関係をめぐる問題	1	0.4	1	0.6
	学業の不振	50	19.5	31	18.2
	進路にかかる不安	41	16.0	15	8.8
	クラブ活動、部活動等への不応	3	1.2	1	0.6
	学校のきまり等をめぐる問題	7	2.7	11	6.5
	入学、転編入学、進級時の不応	43	16.8	43	25.3
家庭に係る状況		37	14.5	40	23.5
該当なし		57	22.3		
計		289		173	
不登校生徒数		256		170	

※ 構成比は、各校種における不登校児童生徒数に対する割合を示す。
 複数選択可、当てはまるものがない場合は回答しないことから構成比が
 100%とならない場合もある。

平成28年度 県立高等学校における中途退学の状況(全日制)

1 中途退学者数(学年別・事由別)

事由	学年	学業不振	学校生活・学業不適応						進路変更	病気が	経済的	家庭事情	その他	小計	合計
			もともと高校生活に熱意がない	授業に興味がない	人間関係がうまく保てない	学校の雰囲気がない	学校の雰囲気がない	その他							
事由別 中退者数	1年	1	19	16	7	14	0	92	3	0	1	0	4	153	
	2年	0	4	23	5	1	2	45	2	0	3	0	5	85	
	3年	0	0	1	2	0	0	14	1	1	0	1	3	20	
事由別 中退者数		1	94						151	6	1	4	1	12	258
事由別率		0.4%	36.4%						58.5%	2.3%	0.4%	1.6%	0.4%	4.7%	100.0%

2 事由別中途退学者数の推移

事由 年度	学業不振	学校生活・学業不適応						進路変更	問題行動	小計	病気が	経済的	家庭事情	その他	小計	退学率 (%)	学年別			生徒総数	
		もともと高校生活に熱意がない	授業に興味がない	人間関係がうまく保てない	学校の雰囲気がない	学校の雰囲気がない	その他										1年	2年	3年		
H24	7	28	22	3	20	34	154	7	275	18	7	6	1	32	307	1.24	200	75	32	24,820	
H25	7	22	26	8	16	14	196	9	298	15	4	10	3	32	330	1.35	230	74	26	24,432	
H26	12	17	41	7	21	14	114	13	239	19	5	8	1	33	272	1.12	183	68	21	24,248	
H27	0	29	64	5	14	4	99	2	217	13	0	5	1	19	236	0.98	153	59	24	24,161	
H28	1	23	40	14	15	2	151	0	246	6	1	4	1	12	258	1.08	153	85	20	23,908	
		94																			

※ 生徒数は、学校基本調査(平成28年5月1日)による。

〔状況〕

1 暴力行為

－対教師暴力、生徒間暴力、器物損壊、対人暴力の4形態－

〈国公立小学校・中学校・高等学校における1,000人当たりの発生件数〉

平成28年度の本県の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、2.5件（前年度比0.2ポイント減）であった。なお、全国の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、4.4件（前年度比0.2ポイント増）であった。

〈公立小学校・中学校・高等学校における暴力行為発生件数〉

平成28年度の本県の公立小・中・高等学校合わせた暴力行為の発生件数は、261件（前年度比60件減）であった。

〈公立小学校・中学校・高等学校における校種別暴力行為発生件数〉

小学校では85件（前年度比2件減）で、児童1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、1.3件（前年度と同じ）であった。

中学校では126件（前年度比60件減）で、生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、3.7件（前年度比1.7ポイント減）であった。

高等学校においては50件（前年度比2件増）で、生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、1.9件（前年度比0.1ポイント増）であった。

2 いじめ

〈国公立小学校・中学校・高等学校等における1,000人当たりのいじめの認知件数〉

平成28年度の本県の国公立小・中・高・特別支援学を校合わせた児童生徒1,000人当たりのいじめの認知件数は、16.3件（前年度比11.0ポイント減）であった。なお、全国の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人当たりのいじめの認知件数は、23.9件（前年度比7.4ポイント増）であった。

〈国公立小学校・中学校・高等学校におけるいじめの認知件数〉

平成28年度の本県の国公立小・中・高等学校におけるいじめの認知件数は、2,487件（前年度比1,746件減）であった。校種別に見ると、小学校では1,686件（前年度比1,026件減）、中学校では615件（前年度比659件減）、高等学校では186件（前年度比61件減）であった。

〈公立小学校・中学校・高等学校におけるいじめの態様〉

- | | | |
|-----|-----------------------------------|-------|
| 小学校 | ①「冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」 | 63.8% |
| | ②「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」 | 22.3% |
| | ③「仲間はずれ、集団による無視をされる」 | 16.2% |
| 中学校 | ①「冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」 | 73.4% |
| | ②「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」 | 15.8% |
| | ③「仲間はずれ、集団による無視をされる」 | 13.7% |

高等学校	①「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」	63.0%
	②「仲間はずれ、集団による無視をされる」	21.4%
	③「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる」	18.8%

〈公立小学校・中学校・高等学校におけるいじめの解消状況〉

平成28年度の本県の公立小・中・高等学校におけるいじめの解消状況は、小学校では87.3%（前年度比9.1ポイント増）、中学校では88.6%（前年度比16.7ポイント増）、高等学校では85.1%（前年度比18.0ポイント増）であった。

3 小学校・中学校における不登校

－30日以上欠席し、理由が経済的理由、病気等でないもの－

〈国公立私立小学校・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数〉

平成28年度の本県の国公立私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小学校が3.9人（前年度比0.8ポイント減）、中学校が25.9人（前年度比1.5ポイント減）、小・中学校合わせて11.7人（前年度比1.1ポイント減）であった。なお、全国の国公立私立小・中学校における児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は13.5人（前年度比0.9ポイント増）であった。

〈国公立私立小学校・中学校における不登校児童生徒数〉

本県の国公立私立小・中学校における不登校児童生徒数は、小学校が274人（前年度比65人減）、中学校が1,016人（前年度比78人減）であった。

〈公立小学校・中学校における不登校児童生徒の前年度からの継続の状況〉

小学校では、不登校児童のうち59.9%が前年度からの継続であり、6年生が74.1%と最も高かった。

中学校では、不登校生徒のうち63.7%が前年度からの継続であり、学年が進むに従って増加し、3年生では76.5%が前年度からの継続である。

〈公立小学校・中学校における不登校になったきっかけと考えられる状況〉

※ 区分のうち「該当なし」は除く

小学校	①「家庭に係る状況」	55.4%
	②「いじめを除く友人関係をめぐる問題」	18.6%
	③「学業の不振」	17.5%
中学校	①「家庭に係る状況」	35.7%
	②「いじめを除く友人関係をめぐる問題」	22.9%
	③「学業の不振」	19.3%

4 高等学校における不登校

－30日以上欠席し、理由が経済的理由、病気等でないもの－

〈国公立高等学校における不登校生徒数等〉

平成28年度の本県の国公立高等学校（全日制・定時制課程）における不登校生徒数は548人（前年度比152人増）であった。

〈公立高等学校における不登校生徒数等〉

平成28年度の本県の公立高等学校（全日制・定時制課程）における不登校生徒数は354人（前年度比127人増）であった。

全日制では256人（前年度比86人増）、学年別では1年生が104人と最も多かった。

定時制では98人（前年度比41人増）、学年別では1年生が53人と最も多かった。

〈公立高等学校における不登校になったきっかけと考えられる状況（全日制）〉

※ 区分のうち「該当なし」は除く

- | | |
|---------------------|-------|
| ①「学業の不振」 | 19.5% |
| ②「いじめを除く友人関係をめぐる問題」 | 19.1% |
| ③「入学、転編入学、進級時の不適応」 | 16.8% |

5 高等学校における中途退学

〈県立高等学校における中途退学者数〉

平成28年度の県立高等学校（全日制）における中途退学者は258人（前年度比22人増）であり、中途退学率1.08%（前年度比0.1ポイント増）であった。学年別の割合では、1年生が59.3%と最も高く、全中途退学者数の半数以上を占めた。

〈県立高等学校における中途退学の主な理由（全日制）〉

- | | | |
|---------------|-------|------------|
| ①「進路変更」 | 58.5% | （前年度41.9%） |
| ②「学校生活・学業不適応」 | 36.4% | （前年度49.2%） |
| ③「病気・けが」 | 2.3% | （前年度5.5%） |